

『P3000を経営者の専用機として利用中。』

短時間のこまめなコミュニケーションで情報の鮮度 & 伝達スピードUP』

実際に使っているお客様に直撃インタビューしました



ランスタッド 株式会社 テクノセンター様

■導入先

■お客様会社名称

ランスタッド株式会社 テクノセンター様

■お客様の業種

総合人材サービス業

■お客様の主な業務内容

人材派遣サービス/紹介予定派遣サービス/人材紹介サービス/再就職支援サービス/アウトソーシング事業



■導入商品

■機器構成

P3000×10台

■ご導入拠点

宇都宮/大阪/埼玉/その他

■料金体系

シングルフラット9

■導入形態

新規導入

導入の背景

日々のコミュニケーションは、電話とメールでした。会議の頻度は月に1回集合型で実施しておりました。数年前に他社ビデオ会議を利用したこともありましたが、すぐ切れて使い物になりませんでしたので、遠隔コミュニケーションを実施するなら、安定した品質の商品を求めていました。

導入前の課題

会議の頻度が月1回ですと、情報のボリュームが多すぎて、会議時間も長時間になってました。毎週、プロジェクトのチェックをしたくても、メールや電話では伝えきれないことも多くありました。また、会議のための移動時間、移動費用も気になっていました。

P3000をこのように利用しています

Wi-Fiルーターとセットで私専用としてP3000を利用しております。これまでの月1回の集合型の会議から、毎日、必要なテーマに絞って短時間で会議ができるようになりました。

また、これまで、お客様先へ向いて実施していたパートナー会議を、社員の派遣先から社員とお客様、製造部門から技術の人等が参加し、オフィスにいながら実施することができるようになりました。

さらに女子寮とのコミュニケーションでも活用しています。電話では伝達できない微妙なニュアンスも、顔を見て話すことによって安心感を与えることができております。

研修生への入校式の演台に持ち込んで、P3000を利用し、現場の方から生の声を聞かせたり、遠隔地の私のオフィスで賞状授与など演出することもできました。

導入後の効果

P3000を活用することで、コミュニケーション密度が濃くなりました。場所にとらわれず、短時間でこまめに、コミュニケーションを取れるようになったため、情報の鮮度が上がり、伝達のスピードUPがはかれています。これまでの代表者が参加する集合型の会議や議事録やレポートだけでは伝わらない情報を一斉に同じレベルで共有できるようになりました。

お客様の声・今後の展望



今後、P3000を活用し障害者向けに在宅勤務の仕組みを考えられます。操作が簡単なので、定期的な面接などでも活用したいと考えております。

さらに、BCP対策としても、損害の程度を映像でみせたり活用できそうです。

執行役員 テクノセンター長 三谷侯様



三谷テクノセンター長様専用のP3000として利用中



Wi-Fiルーターと一緒に利用しています。



自室にいながら気軽に打合せできます。